

令和4年度 第2回出雲市環境審議会 会議概要

開催日時：令和4年（2022）9月26日（月）
13時30分～16時30分
開催場所：朱鷺会館 2階 中ホール

1) 次第

1. 開会
2. 新会員の紹介
3. 会長・副会長の選任
4. 会長あいさつ
5. 議事
 - (1) 「第2次出雲市環境基本計画」及び「第2次出雲市地球温暖化対策実行計画」
【区域施策編】の点検・評価について
資料1 出雲市環境レポート（令和3年度(2021)のまとめ)
 - (2) 市民・事業者アンケートについて・・・資料2
 - (3) 出雲市環境総合計画の骨子について・・・資料3
 - (4) 第2次出雲市ごみ処理基本計画の点検・評価と第3次計画の骨子について
6. その他
 - ① 環境審議会・地球温暖化対策協議会の開催について
 - ② 第3回環境審議会の開催について

2) 出席者

【委員】

		氏名	所属・役職等
1	会長	森本 直知	(一財) 大社湾漁業振興基金専務理事
2	委員	板倉 一郎	出雲市議会環境経済委員会委員長
3	委員	烏田 富夫	出雲市環境保全連合会久多美支部会長
4	委員	岩崎 知久	環境省環境カウンセラー
5	委員	三島 要	出雲市環境保全連合会多伎支部会長
6	委員	園山 純	前島根県不法投棄監視モニター
7	委員	甲山 美紀恵	大社地域自治協会連合会理事
8	委員	山田 康弘	出雲市環境保全連合会伊波野支部会長
9	委員	豊田 知世	島根県立大学地域政策学部准教授
10	委員	山岡 尚	出雲商工会議所専務理事
11	委員	珍部 誠	島根県農業協同組合出雲地区本部常務理事本部長
12	委員	柴田 研司	中国電力ネットワーク(株) 出雲ネットワークセンター所長
13	委員	清水 康子	元平田地域協議会副会長
14	委員	山根 秀	出雲市コミュニティセンター長会理事・北浜コミュニティセンター長
15	委員	米原 誠	環境マネジメントシステム審査員
16	委員	狩野 吉宏	出雲保健所環境衛生部環境保全課長

【事務局】

	氏名	所属・役職等
1	三島 慎也	地域環境部長
2	角 健二	地域環境部次長 環境政策課長
3	園山 博之	環境政策課 ゼロカーボン推進室長
4	青木 保徳	環境政策課 課長補佐
5	金築 敏幸	環境政策課 環境保全係長
6	山根 進	環境政策課 ゼロカーボン推進室 係長
7	森山 友香子	環境政策課 環境政策係 主事
8	安田 弘和	環境施設課 課長
9	江角 裕之	環境施設課 主査
10	江角 健	環境施設課 減量推進係長

【委託業者】

1	勝部 祐治	(株) エブリプラン 専務取締役
---	-------	------------------

3) 議事要旨

会長 令和4年7月6日に市長から諮問を受けて、環境総合計画の策定を進めている。環境基本計画と温暖化対策実行計画を統合して環境総合計画として策定する。市長がゼロカーボンシティを宣言し、2030年を一つの区切りとし、2050年のゼロカーボンの実現に向けて進もうとしている。これに合わせる形で、新エネルギーセンターが稼働した。エネルギー問題は国際的に厳しくなっている。この総合計画も脱炭素とエネルギーが密接に関わっている。

(1) 環境レポートについて

事務局 : 令和3年度の数値をとりまとめている。

委員 : 「主な取組」について、目標値が設定されていない。可能ならば設定してもらいたい。

事務局 : 「主な取組」に目標値は設定しない。取組を進めながら目標値は考えていく。

(2) アンケート結果について

委員 : 年齢層による回答の違いをクロス集計で示してもらいたい。難しい言葉の説明について丁寧に解説してもらいたい。

事務局 : クロス集計については、これから対応する。

アンケート設問用紙内で言葉の説明は入れた。計画の中でも、難しい言葉には注釈を加える。

会長 : 新計画では索引をつける等、検討してほしい。

委員 : 生ごみ等の回収について、外国人の方が食生活の違いにより、排水に生ごみを流されるケースがあるらしい。日常生活における環境教育が必要だと思う。

事務局 : 普段から取組できるよう、丁寧な説明を心掛けていく。

会長 : 廃食油を燃料として使う取組もあるので付け加えておく。

(3) 「出雲市環境総合計画」の計画骨子について

(4) 「出雲市ごみ処理基本計画」の計画骨子について

会長 : 委員からの意見の受付は可能か。

事務局 : 可能である。第3回環境審議会へ反映させていただく。

会長 : 委員の皆さま、本日でなくてもよいので、意見があれば市に提出して頂きたい。

委員 : 資料3、36ページ、3-1-③、海に関する取組について

現在、どのような取組を行っているのか。漂流ごみについて満足度が低いことに

憂慮している。地域・自治体で取り組めること、地元・ボランティアによる清掃活動、海岸の美しさを守る取組などがあると思う。

事務局：他国からのごみについては当事国に対応を求めることになる。海岸漂着ごみの調査を行っているが、出雲市内から発生するごみもある。ポイ捨て禁止への啓発、陸域、水域、河川でごみを少なくする取組も必要となる。

委員：資料1、8ページについて

下水の浄化率が91.5%なのに、湖沼の水質が基準値をクリアしないのは何故か。

事務局：水洗トイレからの排水などの汚濁原因物質以外の汚染がある。山林をはじめとする陸域や市街地からのごみの流入や、農地からの富栄養化物質の流入がある。汽水湖である宍道湖、神西湖は、気象の影響を受けやすく、水温が上昇するなどし、貧酸素状態となるなど影響を受ける。

委員：流入負荷をカットすれば、水質が改善されていくのではないか。

会長：宍道湖など湖内での汚染物質の再生産があるといわれている。そのメカニズムは解明されていない。

委員：資料3、48ページ (1)水と親しむ水辺の整備について

デイキャンプや水辺での遊び場などが少ない。河川などで国土交通省との調整を行いハード面での整備が必要でないか。

事務局：水辺でのふれあいの場の創出を図ることは大切だと考える。

委員：(2)子どもたちの環境教育について

保育園、幼稚園での環境教育は欠かせないと思う。

環境政策課だけではなく、教育委員会とチームを作って取り組んでいくべき。

他の自治体の取組も参考にしてみようか。

子どもたちの環境教育は、全体計画に落とし込んでもらいたい。

事務局：アンケート項目の意見を参考にしていきたい。

教育委員会とは連携していきたい。

委員：資料の送付が遅い。質問の締切が近かった。早めに資料が届くようにしてもらいたい。

事務局：今回は、できる限り早く届けるように調整する。

委員：資料4、12ページについて、H34年度表記はおかしい。R4年度ではないか。

事務局：計画時の表現であるので、ご理解いただきたい。

委員：計画策定にあたり、他の部、課と調整を図ってもらいたい。

下水道の計画など、各部署の取組と調整してほしい。

事務局 : 庁内にプロジェクトチームを立ち上げ、調整している。
他の分野についても調整のうえ意思統一していく。

会 長 : 計画を策定するにあたり、財政的な裏付けが必要である。
その点を特に考慮してもらいたい。

委 員 : 市民アンケートが今の実態を表している。アンケート内容が難しく、お土産をつ
けるべきではなかったか。回収率を上げる取組が必要ではなかったか。
市民の環境に関する関心を高めることが重要である。

会 長 : 再エネの導入について、高くても導入したいというところもあると思う。
どの程度、許容されているのか興味がある。

事務局 : ごみ処理基本計画、4ページの訂正をお願いします。
③最終処分率 14.7→14.4
また、不燃ごみについては、内訳を再調査する。